

市民病院の再整備事業及び民有地建物の解体についての説明会 議事概要

第1回

日時：平成28年7月8日（金）19:00～20:30

会場：神奈川県立スポーツ会館 A会議室（来場者38人）

説明者：横浜市医療局病院経営本部再整備課

古河電気工業株式会社・清水建設株式会社横浜支店

【主なご意見、ご要望等】

（○：ご意見・ご質問 ■横浜市からの説明 ◆古河電工・清水建設からの説明）

《市民病院の再整備について》

- 新病院の公開空地では喫煙できないようにしてほしい。
- 市民病院は地域がん診療連携拠点病院であり、病院敷地内は禁煙としている。新病院の公開空地も病院敷地内となるため、禁煙とする計画である。

- エネルギー棟とはどのような機能の建物か。
- エネルギー棟は病院に電気や熱源を供給する施設である。

- エネルギー棟の騒音はどの程度か。ボイラーの排気による熱や臭気の対策はするのか。
- 音が出る機械は非常時に動く発電機で、常に大きな騒音が発生するわけではない。非常稼働時の音については、病院敷地境界で環境基準値内になるよう設計する。詳細な設計は今後行うことになるが、住宅側に影響がないよう、関係法令に則って施設を設置する。また、機器から異臭が発生した場合は機器の故障が考えられるが、この場合は日常点検で発見し対策を行う。

- 管理棟駐車場の排気ガス・騒音対策について、壁やガラスなどで塞がずに完全に排気ガス・騒音が漏れないようにできるのか。
- 駐車場は半屋外のつくりになる。排気ガス・騒音の対策は、壁・ガラス以外でもできると考えており、換気の向きを住宅側に向けないなど適切な対策を取る。また、駐車場の騒音は気にならないレベルであると考えている。完全に漏れないようすることは難しいが、できる限り配慮する。

- 管理棟駐車場において、近隣住宅に排気ガス等による悪影響を与えないとのことだが、その根拠を数値で示してほしい。
- 駐車場における排気ガスの規制値や基準はないと思われるが、排気口を住宅側ではない方向に設置するなど、近隣に迷惑がかからないよう配慮して設計する。

- 宮ヶ谷バス停の位置は変わるのか。サッカーグラウンド側に寄せられないか。
- 宮ヶ谷バス停は民有地の解体工事中は移動せず、新病院を整備する際に管理棟前のバスベイに移動する。既存のバス路線は残ることになるが、既存のバス停の位置や新たなバス路線については今後交通事業者と調整していく。

- 公園入口前の横断歩道を撤去する代わりに、県立スポーツ会館横の T 字路あたりに押しボタン式信号を設置して欲しい。
- ご意見は参考として承り、今後県警等と協議を進めていきたい。

《民有地建物の解体について》

- 工事中は常に大きな音が出たり、周辺に振動が伝わらないか。
- ◆ 気になる騒音は重機を動かす音だと思われるが、常に音が出るわけではない。解体工事は、以前の建設工事ほど揺れることはないと考えている。

- 工事する前の周辺建物の状況は調査するのか。
- ◆ 工事前の家屋調査は現在計画している。計画がまとまったら個別に相談させていただきたい。

- 準備工事の什器処分とは何か。
- ◆ 現在の社宅にある家具を処分することを指す。

- 作業時間について、土日祝日は原則工事をしないとあるが、工事の遅延があっても行わないのか。また、連絡先は明示してほしい。
- ◆ 土日祝日は実施しない。工事が始まったら仮囲いに現場責任者の連絡先を掲示する。

- 作業時間については、準備も作業時間に含まれると考えている。作業時間を明確にし、時間を遵守してほしい。
- ◆ お示した作業時間は重機等を使用する解体撤去作業を指しており、職員の移動・着替えを準備と考えている。毎朝 8 時に朝礼を実施してから作業を開始し、17 時には重機作業をストップし、現場退出を 18 時としている。

- 工事が予定通りに進むか確認するため、工事着手前に騒音や振動を計測し、予測値と比べてほしい。
- ◆ 騒音・振動のシミュレーションは予定していなかったもので、できるかどうかも含めて検討する。

- アスベストが出る配管パッキン・解体ボードの処理はどのように行うのか。また、アスベスト撤去時の飛散防止はどのようにするのか。
- ◆ 詳細な作業方法はこれから計画するが、法を遵守して適切に処理する。湿潤養生で回収する方法やクリーンルームを設置して負圧にする方法など、法で規定されている粉塵の飛びやすさに応じた対策を取る。また、敷地境界線で粉塵濃度を測定して数値管理をし、特定行政庁へも報告する。

- アスベスト撤去についてはどこの許可を取るのか。許可が取れない場合はどうするのか。また、基準を超えているかどうかの確認は近隣住民でもできないか。
- ◆ 許可を取るのは労働基準監督署と市環境創造局である。撤去時は常に監視しながら、規定条件をクリアするように作業を進め、条件をクリアできなくなりそうな場合は作業を止めて対策

を取る。数値化できるかどうかについては検討したい。

- アスベスト撤去に関しては詳しい時期と工法を住民に知らせて欲しい。工事中に騒音計が設置されるのと同様に、アスベストの粉塵濃度がわかるようなものを設置できないか。
- ◆ 現場事務所を設置した後、11月初旬には詳細な施工計画ができる予定である。工事が始まったら1週間の予定表を仮囲いに掲示する予定である。場合によっては工程表も配布するようにする。計画書の開示は可能なので、閲覧を希望される場合は、事務所に確認しに来てほしい。アスベスト粉塵濃度をリアルタイムで表示する装置はないかと思う。

- 介護が必要な高齢者と暮らしているが、工事の影響の大きい期間は施設入所を考えている。事前の日程調整が必要なので、工事工程については詳細に教えてほしい。
- ◆ 検討する。

- パークスクエアの建替え工事と民有地の解体工事は時期が重なるのか。
- ◆ 重なる可能性があることを想定して進めている。重なる場合は、施工業者同士で調整しながら作業する。

- 解体工事中にサッカーの試合が開催される日の交通対策はどうするのか。
- ◆ サッカー開催などのイベント開催日を確認して、搬入出を調整する。

第2回

日時：平成28年7月9日（土）10:00～11:30

会場：神奈川県立スポーツ会館 A会議室（来場者54人）

説明者：横浜市医療局病院経営本部再整備課

古河電気工業株式会社・清水建設株式会社横浜支店

【主なご意見、ご要望等】

（○：ご意見・ご質問 ■横浜市からの説明 ◆古河電工・清水建設からの説明）

《市民病院の再整備について》

＜新病院について＞

- エネルギー棟の非常用発電機の排気はどちら向きになるのか。
- 発電機はどういった機種か。
- 詳細な設計は今後となるが、住宅側には向けないなどの配慮をした設計としていきたい。機種は、公募している事業者の提案によるが、ガスタービンを考えている。

- 新病院の放射性廃棄物の処分について説明してほしい。
- 患者のおむつも放射性廃棄物として管理しなければならないが、どのような扱いになるのか。
- がん検査などで放射性物質が含まれた排水が発生するが、その処理は国の基準に沿って、院内で溜めて基準値以下になってから排水する。タンクは病院の地下に複数設置して安全を期す。病院で扱う放射性物質は微量で、半減期が短いもの。おむつについては分からないが、放射性物質が付着していれば同じように保管して処分する。放射性物質の廃棄設備については詳細を設計中なので工事説明会でより詳しく説明できると考えている。

- 管理棟は既存建物よりも南に寄っている。ハイタウン進入路の擁壁の間知ブロックは雨があがった後でも水が染み出るところが何か所かある。工事の掘削によって水みちが変わるのでは。ハイタウン側の擁壁に影響がないようにしてほしい。
- 擁壁の件は前から伺っていたので設計段階で検討している。擁壁の安全性については、土木の専門家も交えてボーリング調査で安全性を確かめた。今後はその安全性を市の審査部門が確認し、公的に認められたことになれば、擁壁はそのままの計画。水は湧水ではなく雨が染み込んで出ている。本来は水抜き穴から出るものが、降った雨が泥岩にあたって地盤に沿って流れている。工事中は状況を確認しながら施工する。詳細な説明は今後ハイタウン側に別途行っていきたいと考えている。

- 新病院近くに処方箋薬局の場所がないが、薬局から話は出ているのか。
- 院外薬局について現病院周辺には数軒あるが、新病院には場所がない。今のところ薬局から話は聞いていない。（医療政策として）かかりつけ薬局を推奨しており、病院のごく近くの方は近くに薬局があれば便利だと思うが、少し離れた地域からいらっしゃる方には、かかりつけ薬局を自宅や（例えば）横浜駅周辺で選んでもらう。そこで処方してもらうように今以上に案内を充実させる。必ずしも病院のエントランス正面に院外薬局がなければいけないということではなく、患者さんに身近な存在の薬剤師として、かかりつけ薬局がある。

- 三ツ沢公園は市民や県民の憩いの場なので、東側ロータリー付近の桜やバラは全部伐採しないで、今のままで残すよう設計変更できないか。
- 公園と協議している。今の計画では、桜は高齢で移植が難しいので伐採するが、バラは可能な限り三ツ沢公園内の別の場所に移設を検討している。桜は新野球場の敷地など三ツ沢公園内に新たに植樹することを検討しているので、次の世代に新たに楽しんでもらいたい。公園の入口となる場所ということは意識して設えを考えている。新病院の前の公開空地は公園と一体となって一般の方に使ってもらえる。エネルギー棟の前にも一般公開空地を作るので、そこで休んでいただける。また、ベンチや木陰のある遊歩道を整備し、歩道の高低差を解消して歩き易くする。なるべく緑の環境を残したい。

<交通量について>

- サッカー開催時の渋滞について、先程の説明では三ツ沢公園前交差点を出るまで10分程度と話していたが、新病院ができたらかもっと時間がかかるのではないか。
- 病院駐車場の利用は平日の午前中がほとんどで、現在も午前中に駐車待ちが発生している。一方Jリーグは平日の夜や土日に開催されるので、病院駐車場の利用が多い時間とJリーグの開催時間は重ならない。新病院では駐車場台数が増え、駐車場のゲートも敷地内に引き込むため、万が一満車になっても敷地内で待つことになり、車道で待機することはないと考えている。また、渋滞を解消するために道路を拡幅する。現在でもJリーグ開催日は渋滞が発生しているのは承知している。現状は2車線区間が短く形状が直角にちかいので待つ時間が長い。Jリーグの試合後に調査したところ、平均すると1青信号あたり9台ぐらい交差点を出ていて、最大で10分程度（信号を3、4回）待っていた。右折車線を長くすると一度に出られる台数が15台ぐらいに増え、渋滞の車列が短くなると考えている。カーブもスムーズにして渋滞を緩和する。駐車場は病院利用者だけの運用を考えている。土日の空いている日の利用については、近隣の皆さんに迷惑がかからない方法をこれから検討していきたい。
- 市道から新横浜通りに入る（三ツ沢公園前交差点の）青信号の長さを30秒にすればだいぶ違うのではないか。
- 信号の制御については警察の所管だが、協議を続けているので改善するよう戸部署と神奈川県に要望を伝えたい。
- ロータリー前の道路拡張部分の2車線は、どの部分から開始されるのか。
- 平沼記念体育館の前あたりから車線が増える。
- 曜日や時間帯にもよるが、高速道路の利用が多いときは（三ツ沢公園前交差点では）左折が多くなる。どこから2車線にすればいいのか検討してほしい。
- 再度検討するが、これ以上伸ばしたとしてもそのまま信号を出られないままになると思われる。信号の時間も幹線道路の交通量で変わるようだ。いただいた御意見を参考に今後警察等と協議を進めていきたい。
- 今の（三ツ沢公園入口前の）横断歩道がなくなることにより、横浜駅方面に行くのに2回横

断歩道を渡ることになるが、2回渡るのは今より危険になるのではないかと。警察ではなく病院が主体的に考えてほしい。

■ 渋滞を緩和するため、カーブを緩くすることで2つの横断歩道をなくす計画。Jリーグ開催日はそこを渡って横浜駅やバス停に分かれていく。三角島の歩道を拡幅して歩行者の安全性を確保する計画としている。カーブの途中に横断歩道をつくるのは危険というのが警察の判断。警察と協議をしているところ。

○ 2回道路を横切らなければいけないのが問題だ。横断歩道がなくても道路を渡ってしまうのではないかと。

■ 横断防止柵などで渡らないような対策をとる。今はサッカー開催日にはガードマンが立たないといけない(信号のない)横断歩道なので、信号のある横断歩道の方が比較的安全になるが、どういったかたちが車にとっても人にとっても安全なのか交通のプロである警察と、他に何かできないかも含めて協議する。

○ 車で公園入口方向から来て、反対車線側の診療棟駐車場にすんなり入ることができるのか。

■ 右折でも入れるようにする。また、生活道路の抜け道としての利用がひどいようであれば、注意喚起をする。

○ 病院駐車場を利用するためにサッカー場の前あたりでUターンをする車が増えるのではないかと懸念している。

■ 駐車場は(道路を挟んで)神奈川区側と西区側にそれぞれある。看板などで分かり易く案内していきたい。

○ 今の市民病院は路上駐車がが多い。新病院でも路上駐車は恐れないのか。ガードマンがきちっと管理してほしい。今の病院のガードマンは病院利用者には親切だが、一般の人には不親切。

■ 了解した。注意していきたい。

○ サッカー開催日の観戦者の駐車場の利用についてだが、今は公園の駐車場が少ないので観戦者の多くはバスを使っている。数百台規模で新病院の駐車場の利用が可能になると、車の利用が多くなるのでは。そうすると周辺道路の交通量が間違いなく増える。駐車場の運用を見直してほしい。

■ サッカー開催日に病院の駐車場が利用できると車を呼んでしまうというのは承知している。駐車場の運用の仕方は、近隣に迷惑がかからないことを前提として、皆さんと相談しながら考えさせてもらいたい。

<バスについて>

○ 宮ヶ谷バス停の位置は変わらないのか。

■ 現在より東側に20m移動する予定である。

○ 移動先が管理棟の駐車場入出庫の場所と近いのでは。もう少し離すなり、建物をセットバックさせて入出庫専用レーンを設けるなりした方がいいのでは。

- 交差点近くの入出庫が危険とか、向かいの建物の入出庫の場所など、様々な要因がある。ご意見は承ったので検討する。

《民有地建物の解体について》

- 風が強い場所なので、風速が一定以上に達した日は作業をしないでほしい。風の強い日にサッカー場の散水が霧状になって家まで飛んできて、その都度公園事務所に止めるようお願いしている。
- ◆ 解体時は、飛散防止のために水を撒きながら行う。建物の外周に足場をかけて防音パネルを設置し、そのうえで近隣に面していない方から順次解体する。特に風が強くて敷地の外に水が飛びそうな時は作業を止めて、天候をみながら作業を進めさせてもらう。
- アスベストのレベルは。粉塵の飛散も心配だ。
- ◆ 粉塵の飛散については、説明の通り、飛ぶことがないように配慮する。アスベストのレベルは1から3までであるが、調査結果によると、旧宮ヶ谷寮の室内洗面所の壁に使用されているものはレベル1。煙突内の断熱材や配管のパッキンはレベル2。成形版、床材のPタイル、天井のフレキシブルボードはレベル3。具体的な処理は、レベル1は立入禁止処置をしてクリーンルームを設置する。それからビニールシートのようなもので養生をして、粉塵飛散防止の薬剤を散布した後に、作業員は完全防護で作業を行う。それ以外のレベル2、3は、例えばビニール袋で密閉して切断し、きちんと養生して車に積み込んで搬出する。飛散することのないよう施工計画をする。